

第66回東北民教研「岳集会」

中間集会のご案内

主催：東北地区民間教育研究団体連絡協議会 & 日本教職員組合東北地区協議会

東北民教研のテーマ：『北方性教育の遺産を継承し、国民教育の創造をめざそう』

-やさしい言葉で深い思想を、地域の現実のより深い把握を-

岳集会のテーマ『喜憲法施行70年 命を守り平和をつくる学びを、子どもたちとともに』

第66回「岳集会」のねらいと課題

- (1) 憲法と平和を脅かし、地域と教育を荒廃させる反動的な企みに抗し、東北の民教研運動の原点に立ち返り、平和のための教育、一人ひとりの豊かな成長を保障する教育を守り抜く展望を明らかにする場にしよう。
- (2) 東日本大震災・原発問題に正面から向き合い、学校とは何か、教育とは何かをあらためて問い直す場にしよう。
- (3) 新自由主義の競争と格差の教育、自己責任・管理主義が横行する学校現場の困難さに具体的に応えられる教育実践・教育運動を構築する場にしよう。
- (4) 子ども・青年の生活台の現実の姿をより深くとらえ、父母や地域住民とともに地域から日本や世界をとらえ直す場にしよう。
- (5) 各県・各サークル（分科会）の横のつながりと充実を図り、東北の民教研運動の確かな広がりをつくる場にしよう。

*とき 2017年 5月13日(土)～14日(日)

*ところ 福島市 飯坂温泉 「あづま荘」

住所：福島県福島市飯坂町中ノ内1-1 電話：024-542-3381

*記念講演

(講師) **村山士郎**氏 (大東文化大学名誉教授)

演題：「教育勅語」の亡霊と東北民教研が切り開いてきた歴史

- 1 「教育勅語」の亡霊—安倍政権のめざす改憲と教育改革—
- 2 私は、戦後東北民教研から何を学んだか
- 3 今、北方性の遺産とは何か—治安維持法下の村山俊太郎と教育実践—
- 4 福島からの人間的叫びを、教育の危機として受け止める

*経費

※ 中間集会では「保育」は実施いたしません。

宿泊費

- ①大人(中学生以上)11,000円(1泊2食:夕食・朝食付)
※ 夕食だけ食べて帰る(宿泊しない)場合は7,300円
- ②子ども(小学生)7,300円(1泊2食:夕食【子ども膳】・朝食)

参加費

1,000円(特別企画のみ500円、講演のみ500円、分科会1日のみ500円)

*日程

	10:00	12:00	13:00	16:00	16:10	18:00	18:30	19:30	20:30
13日(土)	現地実行委員会 特別企画	昼食 受付	開会行事・ 記念講演	移動	分科会①	移動	夕食	運営委員会	
14日(日)	分科会②	現地実行委員会							
	8:30	10:30	11:50						



交通アクセス *あづま荘駐車場は、70台は可能

車で
東北自動車道——福島飯坂IC——車——あづま荘
約10分

電車で
福島駅——飯坂線——飯坂温泉駅——タクシー——あづま荘
約20分 / 約5分

13日(土)午前の「特別企画」は、小学校に、「英語」が教科として導入されることについて **瀧口 優**教授(白梅学園短期大学)から、①ことの重大さ ②現場で予想される混乱 ③そもそもの問題点はどこにあるのか ④困難を乗り越えるための当面の方策などについてお話をお聞きすることができます。

第66回東北民教研「岳集会」中間集会 参加申し込み書(問い合わせ先)